

ドアストッパー床取付用(マグネットタイプ) < 取付説明書 >

施工される方へのお願い

本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

警告 ……取付けを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

！注意 ……取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

警告

下記のような医用電子機器を使用されている方の操作は、しないで下さい。

(1) ペースメーカー等の体内埋込型 (2) 人工心肺等の生命維持用 (3) 心電計等の装着型
などの各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

注意

フラッターが立ち上がったままになっている場合は、最後に締付けた取付ねじ2本を1/4～半回転緩めて、フラッターがフリーになったことを確認してください。けがや故障の原因になります。
ドアを開放しておくときには、必ずストッパー本体のツマミを下げてロックをかけてください。
強風時にストッパーが作動しないおそれがあります。

施工上のお願い

本製品は、木質床材専用です。じゅうたん・クッションフロア等の軟質床材への取付はしないでください。
ストッパー本体を取付の際には、扉と床面の間の寸法を10～15mm(スペーサー無しの場合は4～9mm)にしてください。扉と床面の間の寸法を15mm(スペーサー無しの場合は9mm)以上にするとストッパーが作動せず、扉が通過し壁等に当たるおそれがあります。

床暖房システムを使用している部分では使用しないでください。

本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎるねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。

ストッパーが作動した状態で、ドア本体にもたれかかったり、引っ張ったりしないでください。

ストッパーが壊れるおそれがあります。

磁気商品(テープ、カード、時計、精密機器等)をストッパー本体に近づけないでください。

使用できなくなるおそれがあります。

床付金具にワックスをかけないで下さい。万一ワックスをかけた際には、ワックスをきれいに拭き取って下さい。

作動不良の原因になります。

床付金具にほこり・砂がかかった場合は、掃除機等で取り除いてください。

作動不良の原因になります。

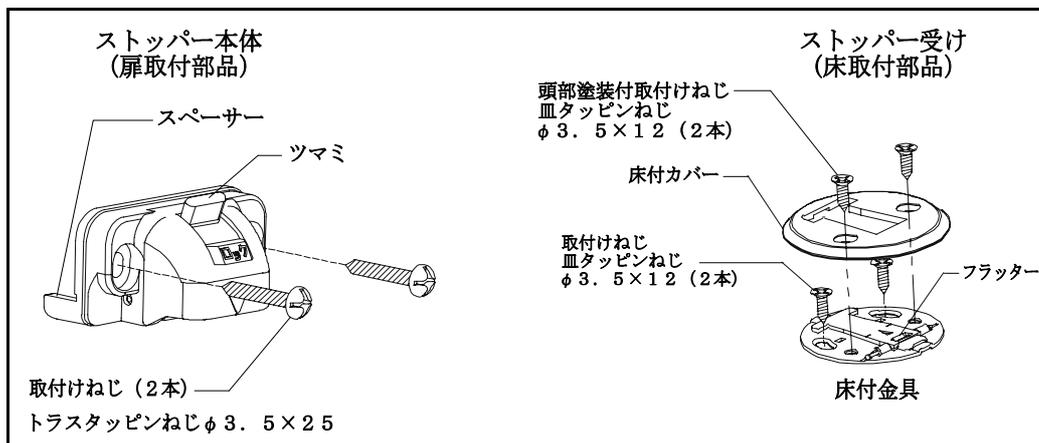
フラッターに磁気を帯びさせないでください。

作動不良の原因になります。

本体にお湯をこぼしたり、または暖房機器による熱風等を与えないでください。

故障の原因になります。

部品・部材の明細

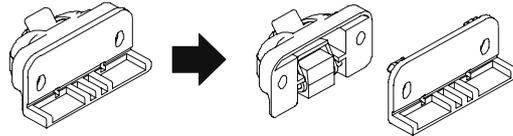


取付け順序

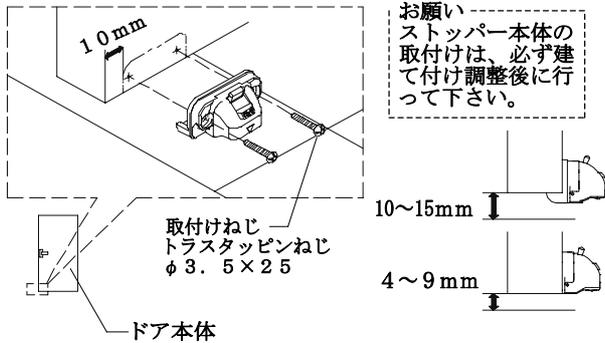
取付け準備

扉と床面間の寸法が、4～9mmの場合、
 ストッパー本体のスペーサーを取り外します。
 扉と床面間の寸法が、10～15mmの場合
 は、スペーサーを外さないでください。

【扉と床面間の寸法が4～9mmの場合】



ストッパー本体の取付け

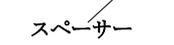


お願い
 ストッパー本体の
 取付けは、必ず建
 て付け調整後に行
 ってください。

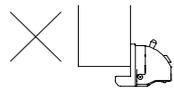
【スペーサー有り】



扉の底と、ストッ
 パー本体の底を合
 わせる。



扉の底と、ストッ
 パー本体の底が合
 っていない。



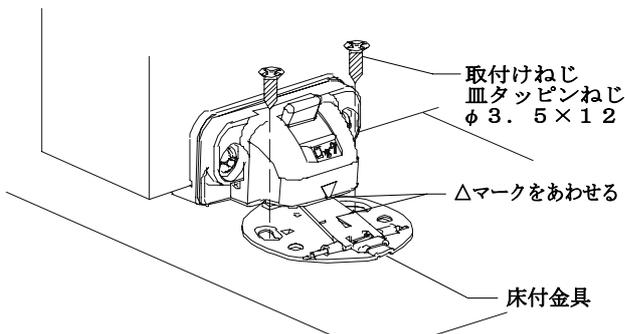
扉の底と、ストッ
 パー本体の底が合
 っていない。

【スペーサー無し】



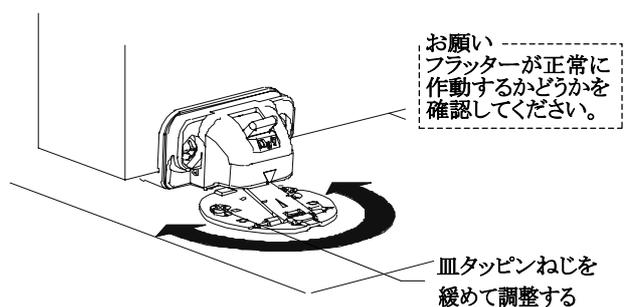
ドア本体下部木口に、スペーサーを引っ掛けて位置を合わせてください。
 スペーサー無しの場合は、ドア本体下部木口と、ストッパー本体下部を合わせてください。
 ドア本体に、ストッパー本体をトラストッピンねじ 3.5×2.5で取付けます。
 木扉の場合は、下穴(2.5)をあけてから取付けてください。
 アルミ枠ドアの場合は、下穴(1.5)をあけてから手回しドライバーで取付けてください。

床付金具の取付け



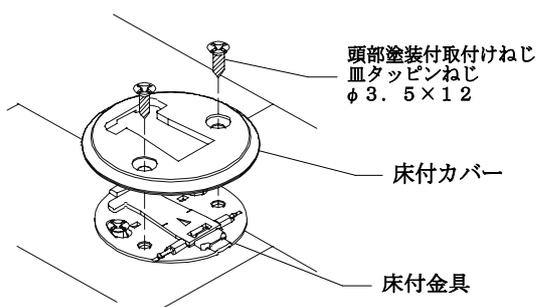
床付金具とストッパー本体の マークの位置を合
 わせて、床付金具を位置決めした床面に皿タッピンね
 じ 3.5×1.2で仮固定してください。
 正面向きに取付いていることを確認するために、ツ
 マミを下げてロックをかけてみてください。

作動の確認



ストッパー本体が床付金具の真上にくるようにドア
 本体を開き、正常に作動するか確認してください。
 ツマミを下げて、ロックができることを確認して
 ください。
 正常に作動しない場合は、皿タッピンねじを緩めて
 位置を調整し本締めしてください。

床付カバーの取付け



床付金具に床付カバーをかぶせて、頭部塗装付皿タ
 ッピンねじ 3.5×1.2で固定してください。

注意

フラッターが立ち上がったままになっている場
 合は、最後に締付けた取付けねじ2本を1/4～
 半回転緩めて、フラッターがフリーになったこ
 とを確認してください。けがや故障の原因にな
 ります。